

大阪市ハウジングデザイン賞

選考有識者会議

委員長 委員長代理 委員	高田 光雄 江由紀子 大鈴利明 谷木嶋節子 鈴中難波里美	(京都大学名誉教授・京都美術工芸大学教授) (関西大学教授) (摂南大学教授) (日本放送協会大阪放送局編成部編成管理副部長) (京都大学大学院教授) (株式会社難波不動産鑑定代表取締役)
--------------------	--	---

総評

大阪市ハウジングデザイン賞の募集は、今回で第31回を迎える。234件の応募があったが、昨年同様、本年も新築分譲集合住宅の応募が多数を占めた。しかしながら、新築分譲集合住宅は、安定的、標準的なモデルの適用が目立ち、残念ながら挑戦的な試みは少なかった。これに対して、賃貸集合住宅の新築・建替や改修事例では、多様で挑戦的な試みが認められた。

さて、本年度の大阪市ハウジングデザイン賞選考有識者会議では、書類審査、現地審査を経て、多面的な視点から委員相互の議論を重ね、2件をハウジングデザイン賞、1件をハウジングデザイン賞特別賞として選定した。

ハウジングデザイン賞に選定した住宅は、新築木造長屋と高齢者向け賃貸住宅団地である。前者は、公園に隣接した旗竿敷地に立地する2階建長屋である。住戸の間取りは自由度が高く、内装や設備も一定の質が確保されている。通過交通のない袋地空間は、子供の遊び場や近隣のコミュニティ空間としてうまく活用されている。また、端部住戸が大家住宅となっており、住まい手が安心して暮らすことができる。後者は、緑道沿いの敷地に立地するサービス付き高齢者向け住宅である。ゆったりとした住戸、地域や団地内の中庭とつながる共用空間が、入居者の参加を経て計画され、地域に溶け込んだ居心地の良い空間が創り出されている。

一方、ハウジングデザイン賞特別賞に選定した住宅は賃貸住宅の建替事例であった。閉鎖的な計画であるという見方もできるが、住戸内に外部空間を最大限取り入れ、仕事や趣味と生活が混じり合った新たな都市型ライフスタイルの舞台としてまちと関わる魅力的なデザインを提案していると評価できる。

これら3事例は、いずれも、大阪市ハウジングデザイン賞の理念である、住宅とまちとの関係を重視した都市型集合住宅のモデルとして高く評価された。こうした取り組みが次年度以降もさらに展開していくことを期待したい。

(選考有識者会議委員長・高田 光雄)

受賞作品

翼NAGAYA (賃貸)



所在地：生野区翼中4丁目
事業者：株STRUCT
設計者：株菱田建築事務所
施工者：株菱田建築事務所
構造・規模：木造、地上2階、5戸
敷地面積：442.18m²
建築面積：279.02m²
延べ床面積：475.75m²



関西地区には、古い木造長屋をより現代の生活スタイルにあわせて改造・改築している物件がある。その多くは基本構造を変えずに外壁や間取りの変更、耐震補強を中心になっている。生野区にあるこの「翼NAGAYA」は、新築でありながらあえて木造長屋建築にしている。新築であることから既存の基本構造にとらわれず、自由な設計が可能となっている。T字型の敷地に建つこの長屋は、建物までのアプローチと玄関前の路地はフラットな空間として、建物外観はシンプルなデザインである。玄関は檜の引き戸で吹き抜けの広い土間は開放的な空間になっている。リビングの床にも檜の無垢材を使用するなど、至る所に木の温もりを感じさせると共に、使い勝手の良い対面型キッチンや通風に拘るなど、居住者目線に立った良質で丁寧なデザインは秀逸である。長屋の長所である近隣とのコミュニティを生かしつつ、プライベート空間を充実させるために、様々なところで設計者の意図を感じることができ、新築長屋の好例として評価したい。

(選考有識者会議委員・鈴木 利明)

ゆいま～る福 (賃貸)



所在地：西淀川区福町2丁目
事業者：㈲福三
設計者：㈱ヴァンズ
施工者：㈱ヤマダ・エスパイエルホーム
運営者：㈱コミュニケーションネット
構造・規模：木造、地上3階、53戸
敷地面積：1935.47m²
建築面積：1114.85m²
延べ床面積：2615.19m²

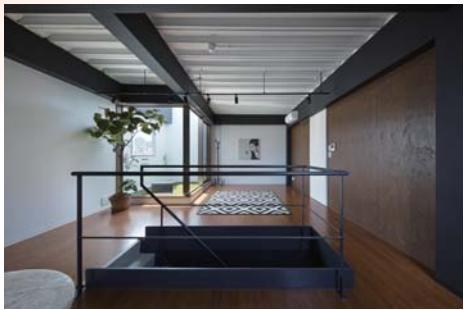
サービス付き高齢者向け住宅は、近年の需要の高まりから、住戸面積の緩和規定による狭小化や住宅内設備の不備など質的課題が指摘されている。そのような中、ゆいま～る福はとても心地よく、健全な住まいという表現がぴったりのサ高住である。最寄駅より徒歩5分、大野川緑陰道路と福町公園に面した好立地にもかかわらず、3階建3棟、住戸面積は40m²台を中心に31.9m²～58.9m²、合計53戸というスケール感が住まいとして何よりもよい。住棟とゆいま～る食堂に囲まれた中庭には居住者の発意で野菜や季節の花を植え、実が生れば地域の人も一緒に調理し「私つくる人、私食べる人」と笑顔がこぼれる。食堂横の小さな図書室には、地域の親子が絵本の読み聞かせに訪れてくる。住戸計画や施設運営の随所に高齢者の声を反映し、ハードもソフトも適度に開かれた居住者が参加型の暮らしの提案はもちろんあるが、大阪市の良質な住宅ストックという観点から、本賞に相応しいと評価を得た。

(選考有識者会議委員・大谷 由紀子)

特別賞 K-SOHO (賃貸)



所在地：淀川区東三国2丁目
事業者：㈱H1
設計者：㈱コンパス建築工房
施工者：森繁建設㈱
構造・規模：鉄骨造、地上3階、12戸
敷地面積：356.75m²
建築面積：263.17m²
延べ床面積：633.97m²



地下鉄、JRの各駅から徒歩5分の2WAY立地にある3階建ての賃貸住宅である。1・2階と2・3階のメゾネットタイプの1LDK12戸から構成される。箱をすらして置いた様なフォルムで2階は外壁で目隠ししているため外観は一見倉庫か研究所のようで共同住宅とは見えない。1・2階の住戸は専用の玄関が道に面しており、1階は小さな庭とバイクガレージとして利用できる土間がある。室内の階段があがる2階の附室は外壁により目隠しされているが、庭の上部が吹き抜けであり、採光に問題ない。むしろ外壁で外と分断することによりプライバシーを確保しているためかえって開放感がある。2・3階の住戸にも3階にインナーテラスがある。URの大規模賃貸住宅や民間賃貸住宅も多く供給されている賃貸競争の激しいエリアの中で、自分の趣味を中心に住宅を選別するニッチな需要を掘り起こしている点が評価できる。メゾネットタイプにすることにより共用部は少なくなりメンテナンスもしやすい。無機質な感じは否めないがコクーンのような場所で新たにものを生み出す可能性も感じられる。ローコストでも賃貸住宅に競争力を持たせることができる一例である。

(選考有識者会議委員・難波 里美)